

令和2年度 第6回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和3年3月30日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ1F FMはまなす会議室
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 7名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・永沼 興子
 - ・仁志 正樹
 - ・木村 聡
 - ・北口 博美
 - ・畑 孝子
 - ・加藤 一美
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(社長)
 - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送期間3/8~3/20)
 - (1) 局制作番組
「昼生放送」
 - (2) 市民制作番組
「ザワちゃんねる」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「昼生放送」

- 1) 「ひろむのちょこまかエクスプレス」
- 2) 「ENJOY! WEDNESDAY」
- 3) 「けんけんのここ掘れわんわん」

FM はまなすスタッフによる番組。各パーソナリティーがそれぞれの観点からお送りする情報番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

3月8日（月）「ひろむのちょこまかエクスプレス」について
「春の雰囲気を漂わす、町の情報。セイコーマートの情報～中華丼フェア、ワイン情報。店に行かないと分からない情報を知ることが出来た。ゲスト登場～北電支店長阿部さん、宮内さん。エアコン洗濯機等のキャンペーン、ラジオからの情報は効果がある。」

3月10日（水）「ENJOY! WEDNESDAY」について

「パーソナリティー新井優也さん。東日本大震災10年応援、復興へのソングを流す。セイコーマート情報（上記に同じ）緊急地震速報、津波情報の発表方法、防災グッズなど、3月11日に関わっての災害対策の心構えを再確認される。語りが落ち着いていてゆっくり静かな中で聞くことが出来た。流された曲も良かった。」

3月12日（金）「けんけんのここ掘れわんわん」について

「豊中学校の卒業式でのインタビュー。もう少し多くの人の声があってもいい？卒業をテーマに流された曲は良かった。セイコーマート情報、教育楽器のお知らせ～耳から入る宣伝の効果を感じる。」

永沼委員

3月8日(月)「ひろむのちょこまかエクスプレス」について
「セイコーマートのコマーシャルの時間が長いですね。ひろむ君がリラックスしてやる番組だと思うのですが、話の終わりに「ウン」ということが何回もあり気になりました。「14時15分で終わる番組なのに「14時10分に終わります。」と言っていたが歌が入るので、「歌を入れてから終わります。」ではないですか。」

仁志委員

3月17日(水)「ENJOY! WEDNESDAY」について

「聞き慣れた特徴のある声。マイクの前でハニカミながら笑顔で話す情景は目に浮かびます。何度かイベント等で同席したことがありますが、聞き易い声に好感を覚えました。番組の進行もスムーズで今後の展開が楽しみです。少し欲を言わせてもらえば、番組の話題としてはもう少し準備が必要な気がします。基本的に番組を聴く人に「そうなんだ!!」と、リピーターに残尿感的「清涼感」、当たり前の普通の楽しい時間を「どれだけ提供できるか」が基本ではないかと思います。今後の沢山の経験、その後も楽しみです。素敵なキャラ!! 期待も大きいです!! 嬉しそうな、半袖、短パンの姿で、元気な姿が目には浮かびます。!!」

木村委員

3月12日(金)「けんけんのここ掘れわんわん」について
「市内中学校が卒業式を行ったということで、番組のテーマは「卒業」。オープニングトーク、セコマの時間、インタビュー、締めという構成で、当日午前中に行われた豊中学校での卒業式後のインタビューの取材を交えた手間をかけた内容で、町の「今」を伝えたいという意欲にとっても好感を持つことが出来ました。気になったことは2点。まず1つ目は「卒業」というテーマの話と放送前日の東日本大震災の10年目の話題を話しているときのBGMが明るく跳ねた感じの音楽で大震災の重い話の内容と合っていなかったことです。もう一つ気になったのは、オープニングの話

が終わった後に「話が暗くなってしまいました」というような自己反省的なコメントをし、番組最後の話の後に「変な締めで・・・」とまた自己反省的な言葉が出てきたこと。癖なのかもしれないが、話の終わりに自己反省を付けられると今までしていた話は何なのか聴く者が戸惑ってしまいます。自分の話に自信をもって放送に臨んでほしいと感じました。いつも明るく朗らかでなくても、テーマによっては暗く重い内容の話でも聴く方では真面目に語っていれば、その思いはきちんと伝わって番組を聴いて良かったと感じるのではないのでしょうか。」

北口委員

3月10日（水）「ENJOY! WEDNESDAY」について

「若い世代だけではなく多くの方にも楽しめる、新井さんらしさの出ている良い番組だと思います。一般の人は知らない業界の裏話や情報など、トークの時間の割合がもう少し多くても良いと思います。他の番組にも共通しますが、スポンサーCM（セコマ）の時間が約7分と、長すぎに感じてしまいます。興味を持って聴けるような工夫があるといいのですが・・・。」

3月12日（金）「けんけんのここ掘れわんわん」について

「豊中学校での卒業式後のインタビューは、卒業生や父母の生の声が、コロナと大雪の大変な中でも、着実に春が近づいていると感じる事もでき、心にしみるものでした。やはり中継を入れるのはいいですね。卒業ソングも良い選曲だったと思います。」

畑委員

3月12日（金）「けんけんのここ掘れわんわん」について

「車移動中にほんの一部ですが聞かせて頂きました。セコマのおすすめ情報の所で中華フェアの案内、大福のくだりでは食べてみたくなりました。」

加藤委員

「昼生放送各種」の放送について

「ヒロム君、新井君、けんけんさんのいつも明るく元気な放送を仕事がてら拝聴させていただいています。月・水・金曜日は地元岩見沢の情報や、地元ネタを混ぜながらの楽しいトークは、約1時間を短く感じるように聴いております。その反面、生放送は色々大変だとは思いますが、火・木曜日の昼が有線放送だったりで、そうすると他局の昼の生放送を聴いてしまいがちです。平日の昼だけでも、パーソナリティーの目線で、今その時の岩見沢の情報を昼の1時間でいいので、毎日聴きたいと感じております。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。セイコーマート情報は宣伝効果がありますよね。」

永沼委員

「もう少し崩して読んでも良いのではないのでしょうか。時間が長いと感じます。」

スタッフ松井

「スポンサーから提供される原稿を使用しています。」

畑委員

「放送時間やルールは決まっているのですか。」

スタッフ松井

「目安の時間は決まっています。」

北口委員

「番組内で分けて放送は出来ないのですか。文章を読むだけではなく、パーソナリティーそれぞれのキャラクターを生かした読み方というのがあればいいと思います。」

岡委員長

「宣伝効果はありますよね。何回も聞かされると買ってみようかと思えますよね。」

木村委員

「平日の昼に帯で生放送が出来ると良いですね。」

スタッフ松井

「局としても出来ると良いと考えてはいます。検討します。」

畑委員

「この3つの番組はそれぞれテーマや特徴があるのですか。1人1人のキャラクタープラスそれぞれが持っている特徴や得意分野を明確にするとリスナーが定着するのではないのでしょうか。」

永沼委員

「番組の流れだと思いますが、トーク部分が少ないと思います。」

加藤委員

「放送時間は前より長くなりましたよね。」

畑委員

「ゲストを呼ぶのは固定化していくのですか？」

スタッフ松井

「出来れば固定化していきたい。」

岡委員長

「地域の方が参加するのは良い事だと思うし、生の声を沢山入れていくのは大事な事だと思います。いろんなキャラクターの方が番組を担当していけると良いと思います。では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「ザワちゃんねる」

商店街の若手の「いま」を届ける番組。どんな事を考え、どんな事を目的にして活動しているかを伝えている。

① 事前意見回答報告

岡委員長

3月20日（土）の放送について

「前野さんの司会による、教育大生との若さを感じる話のやり取りであった。ねぶた祭りのPR、楽しみである。」

仁志委員

3月20日（土）の放送について

「商店街の若手の「いま」を届ける番組。気になりながら聞きました。教育大生の生徒によるねぶた祭り山車制作の経過と、駅舎展示迄の経過を含め苦労話を聞きました。商店街青年部の前野さんのリードで、二人の学生が話す内容は「純粹」に取り組み楽しむ姿を感じる事が出来ました。暫く忘れかけていた大切な「モノ」を見つけた気持でした。今後も、岩見沢での二人の興味ある「子供食堂」、「雪遊びの企画」、「人つなぎ岩見沢」にも更に深めて、岩見沢で経験した事を今後も岩見沢で、そして各地で生かしてくれたら嬉しいですね。そして、岩見沢の魅力を外部の視点から新しい仲間と地元人と発見、耕し、変化を楽しむ時間、沢山の経験をして欲しいですね!! 前野さんを含め、次回の学生さんの登場を期待しています。また聞きたい番組の一つです。」

北口委員

3月20日（土）の放送について

「前半10分と後半10分程度しか聞けませんでした。岩見沢のまちづくりに積極的なパーソナリティーと大学生の前向きな話に、元気がもらえ、関心深く聴きました。」

「岩見沢ねぶた祭り」については、メディアで何度か取り上げられていますが、地元のラジオ局ならでは、そもそも何故この「岩見沢ねぶた」なのか？どんな経緯があるのか？など、深掘りした説明も欲しかったと思います。」

畑委員

3月20日（土）の放送について

「教育大生のコメント中、岩見沢の人のあったかさに接した。また、MCの方との会話の中、人が集まる、たまり場があるといいな。集まる場所が有るだけでも何かのきっかけになる。また、ねぶたにも関わりを持って欲しい。岩見沢に帰ると“ねぶた”が有る。そんな風になって欲しいとコメントされました。また、簡単なねぶた作りのワークショップを考えているとの事。是非実現すると良いですね。」

加藤委員

3月20日（土）の放送について

「コロナ禍でも岩見沢・岩見沢商店街を少しでも盛り上げていこうとする気持ちがすごく伝わってくる番組内容だったと感じています。20日の放送では、岩見沢教育大学の岩見沢ねぶた祭り復活への想いや大変さ、今年の8月21日に3年越しのプロジェクトが実現する事に感銘を受けました。岩見沢を少しでも盛り上げたいと思っている人たちの想いを、今回の放送で聴けた事で僕も出来る事を少しでも実行に移し、岩見沢を盛り上げていきたいと思わされました。これからも地元に根ざした番組として聴いていきたいと思います。」

② 審議

岡委員長

「では、意見は有りませんか。」

北口委員

「ねぶたに取り組んだ経緯をもっと話してくれたら良かつ

たと思います。」

仁志委員

「岩見沢の歴史と繋げて調べて説明してほしかった。」

木村委員

「このような取り組みを FM はまなすの番組で繋げていって貰えたらと思います。」

岡委員長

「1回で終わらず続けて欲しいと思います。他に有りませんか。無ければ終わります。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

1) 局制作番組

「金なま!!ナイト倶楽部」

市民の為になる番組作りを行っていくよう指導した。

2) 市民制作番組

「ポップスフォーエバー」

今後も良い番組作りをお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法

自社放送、ホームページ、局内設置議事録

公表内容

委員の主な意見

公表年月日

令和3年4月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。